



— 卯野(うの)修三 議員活動報告 —

(1959年(昭和34年)1月3日生まれ 寺井高校卒業)

師走に入り何かと慌ただしくなってきました。これからも地域を元気にしたいという初心を忘れず真摯に能美市のために取り組んでまいります。さて、しゅうちゃんニュース第16号を発刊させて頂きました。ご一読賜れば幸いです。

「勇気・元気・やる気」+「根気・突破力」 能美市議会議員 卯野 修三 (3期目) (会派・能美保守の会 所属)

[市議になって取得できた資格]

(取得資格) 平成31年2月防災士、平成30年、令和元年と能美市の手話講座受講→手話検定5級、販売士2級、詩吟(吼山流)初段、実用英語検定2級、POP広告クリエイター3級消費生活アドバイザー(産能大・通教修了)、のみ検定上級、ふるさと小松検定初級、金沢検定初級、白山検定初級、加賀ふるさと検定初級 取得

<令和6年1月能登半島地震・9月水害 ボランティア支援>



◆令和7年4月23日 第19回
珠洲市若山町



◆5月12日 第20回
志賀町給付



◆6月7日 第21回
珠洲市 旧飯塚保育所



◆6月21日 第22回
珠洲市防災センター



◆7月25日 第23回
富来町行政センター



◆4月14日～15日
大阪万博
(商工会商業部会で研修視察)



◆5月19日・20日
オンライン診療・スマート物流
(行政視察 恵那市 敦賀市)



◆6月16日
あいさつデー(湯野小)



◆6月28日
石川県民スポーツ大会
(能美市バレーボール協会会長として)



◆8月3日
第58回石川県ろうあ者大会
(石川県女性センターにて)



◆11月9日 母校法政大学で
ローカル・マニフェスト大会で
廣瀬克哉 法大総長(法学部政治学科)と



◆11月22日
寺井高校創立60周年記念式典
(実行委員長として)

11月12日(水)能美市議会臨時会が開催され、議長に山本 悟氏(4期)、そして副議長に不肖、私こと卯野修三(3期)が選出されました。市民のみなさまの負託に応えるよう頑張ります。



◆7月から市内で市政報告会(宮本参議院議員と亀田県議)



◆10月12日～ 選挙活動



◆10月19日 当選



◆11月12日 副議長あいさつ

令和7年6月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 6月12日

質問 ◆地域団体の再生と市の支援のあり方について◆

①市内の各種団体の一つである壮年団・女性協議会の組織数、会員数はコロナ禍前と比較してどのような状況か。

答え 教育委員会 森管理局長 平成30年度、連合壮年団52団体2,237名が令和7年度は38団体1,223名、14団体1,014名減少。
平成30年度、女性団体協議会54団体1,921名が令和7年度32団体872名、22団体1,049名減少。

卯野は思った 事業が多すぎるのでは、絞るだけ絞って存続はかるべき。

質問 ②人数減少という課題解決のため、一時的に組織されるチーム(タスクフォース)を迅速に立ち上げるべきと考えるが見解は。

答え 井出敏朗 市長 今後、町会長・町内会長・公民館長など関係するみなさんと意見交換を継続し、それぞれの意見を確認しながら検討する。

再質問 検討するとのことだが、いつ頃までにしていくのか。

答え 井出敏朗 市長 毎日のように検討していく。

質問 ◆能美市の観光振興について◆

①旧辰口フラワーハウス跡地で検討を重ねている「道の駅的機能を有する施設」について、プロジェクトチームを作るべきと考えるが見解は。

答え 産業交流部 中川部長 現在、公設民営も視野に国庫補助金の活用など財源確保も検討しながら、能美市商工会・観光物産協会などにも広く意見をいただき、現時点では産業交流部が一丸となってチームとして事業推進をはかりたい。

卯野は思った 北陸新幹線が2015年に金沢まで開通して早や10年。もう、いいかげんに道の駅つくりましょう!

(裏面もご覧下さいませ)



6月議会

質問

②近年の観光客は地域ならではの体験を求めているので、能美市にも近隣他市のような観光ボランティアガイドが必要と考えるが、その後の進捗状況は。

答え

産業交流部 中川部長 近隣自治体の事例を参考にしながら、自主ボランティアガイド団体の立ち上げに関する課題や市観光物産協会と連携しながら、ボランティア組織の運営方法を調査研究していきたい。

再質問

以前、同様の質問をして7年経ちました。一度能美市でボランティアガイド制度をやってみませんか？

答え

産業交流部 中川部長 ありがたい提案をうけた。てらかつ協議会などの団体と一緒に協力をさせていただきたい。

質問

③一般社団法人、能美市観光物産協会の代表としての思いは。

答え

飯田重則 副市長 能美市観光アクションプラン2024に基づいて、市の観光施設と観光物産協会と連携し、観光地としての受け入れ環境の整備、観光コンテンツの造成、インバウンドへの対応に積極的に取り組みたい。

再質問

観光物産における能美市の強みと弱みは。

答え

飯田重則 副市長 強みは交流人口を増やす要素が沢山あること、弱みは金沢駅などの主要な交通拠点からの二次交通の整備不足。

卯野は思った

今回の副市長の答弁は、いずれも現状をふまえて、やるべきことはやると頼もしい発言が多く、今後注視していきたい。

6月議会の一般質問の
まくら(冒頭)での発言



市内のある地区の壮年団長の言葉「**壮年団がぼくらに何をしてくれるのか、でなく、ぼくらが壮年団を通して何ができるのか**」。まさにアメリカのジョン・F・ケネディ大統領の言葉と同じ。肝に銘じました。

令和7年9月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 9月10日

質問

◆高齢者の公衆浴場入浴サービスについて◆

①地域における公衆浴場の役割について市の見解は。

答え

健康福祉部 宮下福祉課長 多くの市民に入浴の機会を提供し、リフレッシュ、心身の疲労回復、高齢者にとって見守りふれあいの場であり、地域を活性化
する交流拠点として日本の銭湯文化を発信する場所であり重要な地域資源である。

質問

②地域コミュニティの核にもなる公衆浴場の役割をふまえ、本年3月まで実施していた65歳以上の市民への公衆浴場入浴
サービス制度復活をすべきと考えるが見解は。

答え

飯田重則 副市長 持続可能な事業とするため、今年度から対象者を非課税世帯のみに変更した。尚、市は高齢者の健康づくりを目的とした市内温浴施設を
めぐるスタンプラリー、いきいきプラチナキャンペーンの対象施設に公衆浴場を追加したので、これを機会に公衆浴場を広く知っていただきたい。

再質問

納得がいきません。今一度従来の制度の復活を。

答え

飯田重則 副市長 くり返しになりますが、公衆浴場入浴サービスを持続可能な事業にしたいのでどうかご理解を。

卯野は思った

地域社会のコミュニティの場は街の灯です。みなさんも、一度公衆浴場へどうぞ。

質問

②辰口福祉会館内のふるさと温泉の入浴料金は市内と市外で差をもたせ、収益が増えた分は
施設維持費に回すべきと考えるが見解は。

答え

健康福祉部 宮下福祉課長 回数券については市外利用者に比べ、市内利用者には割安に設定している。但し燃料費
高騰、浴場混雑解消などの課題克服のため、近隣市町を参考に検討したい。

質問

◆特殊詐欺被害を防ぐために◆

①能美警察署管内で発生した特殊詐欺、SNS型投資詐欺、ロマンス詐欺の本年と前年の状況は。

答え

市民生活部 上戸部長 県内で1～7月の特殊詐欺被害件数は111件、被害金額は7億5千万円余。能美警察署管内は5件で3億円余。SNS型とロマンス
詐欺は県内で69件、6億7千万円余。能美警察署管内は2件、1,130万円余。

質問

②能美市からの通話録音装置の貸出し状況と自動録音機能付の電話機の購入補助制度の導入は。

答え

市民生活部 上戸部長 能美市に貸出し用の通話録音装置は30台ある。令和3年度は2台だったが、令和6年度は25台。そして自己負担なく、現在使用
している固定電話に接続して使用できる通話録音装置の貸与が効果的と判断している。

質問

③特殊詐欺の撲滅に向けて特殊詐欺検知AIの実証実験など取り組むべきと考えるが見解は。

答え

市民生活部 上戸部長 先進事例の確認をしたところ、誤検知・見逃しのリスクもあり、情報収集の際のプライバシーの懸念もあり、今後の動向を注目したい。

卯野は思った

私たちの身近なところで想定以上の詐欺が発生している。特に高齢者の方々への普段からの声かけが大切だ。

質問

④市として特殊詐欺撲滅を掲げた対策を実施すべきと考えるが見解は。

答え

井出敏朗 市長 対策として①市民への情報提供、周知の徹底②高齢者への直接的な働きかけ
③通話録音装置などの利用呼びかけ④消費相談センターなどへの相談対応をしていきたい。

卯野は思った

市長自身も県警の安全安心・広報インフルエンサーとしてどんどん発信してほしい。

質問

◆市内中小トラック業者への燃料価格高騰の支援金について◆

厳しい経営環境にある中小トラック業者への燃料価格支援制度を設けるべき。

答え

産業交流部 中川部長 本市では国の重点支援地方交付金を物流事業者に限らず、市民全体向けの応援特典
券の実施に活用した。現在、国ではガソリン税の暫定税率廃止法案が議論されており動向を注視していきたい。

卯野は思った

トラック輸送業者は、地域社会に不可欠な役割を担っており検討を設けていただきたい。

9月議会の一般質問の
まくら(冒頭)での発言



「百里を行く者は九十里を半ばとすべし」
議員になり2期8年、最後まで気を抜いてはいけ
ないという意味。これまで大項目で92の質問を
しましたが、**初心にかえり取り組みます。**

能美市議会議員 卯野 修三

〒923-1121 石川県能美市寺井町ラ16

TEL (0761) 58-5811 FAX (0761) 58-5812

メルアド uno0905@tvk.ne.jp

うの修三

検索



卯野修三



ホームページ



Facebook



Instagram